



第一礼拝次第

メッセージ: 渡真利彦文牧師

前奏
 頌栄
 主の祈り
 ブレイズ
 聖書朗読
 祈禱
 賛美
 メッセージ
 祈禱
 賛美
 聖餐
 献金
 報告
 頌栄
 祝禱

540

「心に感謝をもちながら」
「その愛よりも」

コリント第一 13:3

(新約聖書 p317)

第二讚美歌 47

「信仰」

270

新生 672b

会衆
 “
 会衆
 司会
 “
 会衆
 牧師
 “
 会衆
 “
 司会

<巻頭言>

「自然は神の贈り物」

牧師 渡真利彦文

暦の二百十日は立春から数えて 210 日目、今年は9月1日に当たる。この時期には台風に襲われることが多いといわれている。猛烈な台風11号が1日、沖縄の南へ進み、ほとんど停滞した後、2日午後から北上をはじめ、3日から4日にかけて非常に強い勢力で沖縄地方に接近する見込みだ。台風の動きに一喜一憂するが、考えてみると、台風により害虫駆除、海水浄化などの恩恵もある。台風襲来はマイナスばかりではない、プラスの面も心に留める必要がある。

先日、「自然エネルギーは神の贈り物」をテーマにしたセミナーに参加した。歴史は、自然の恵みと共につくり出されてきたといえる。コロンブスのアメリカ大陸発見、バスコダガマのインド航路発見、マゼランの世界一周などを可能にした航海技術は風力によるものであった。なぜ江戸に徳川幕府が建てられたのか。様々な理由があるだろうが、一つの理由は京都には木がなかったことであると聞いた。平安朝時代、京都近郊から多くの木を伐り、建物を建てたので、新しい首都を築けるほどの木が残っていなかったそうである。

自然の恵みは神の贈り物である。水力、火力、太陽光や熱、風力、地熱などのエネルギーも生み出してきた。石油や石炭などの化石燃料が枯渇の不安を抱えるのに対して、風力は自然エネルギーの中で今後最も貢献度の高い可能性があるそうだ。神の創造されたすべてに感謝したい。



第二礼拝次第

メッセージ: 渡真利彦文牧師

聖書: マルコ 10:35~45 (新約聖書 p82)

メッセージ: 「ヤコブとヨハネの願い」

プレイズ: 「賛美のとき」 「主は陶器師」

賛美: 新生 386 新生 504



ファミリー礼拝

メッセージ: 渡真利彦文牧師

聖書: ダニエル 3:13~30

メッセージ: 「燃え盛る炉の中で」